



大学ゼミ対抗プロジェクト

ポリス & カレッジ in KYOTO 2019

～高齡運転者の交通事故防止～

京都産業大学法学部 浦中研究室
磯貝、杉山、平、林

目次

1. 高齢者運転事故を減らすためには・・・
2. 免許返納についての諸問題
3. 安全運転サポート車について
4. 私たちの提案

「高齢者対象のカーシェアリング」
～官民一体となって推進しよう～



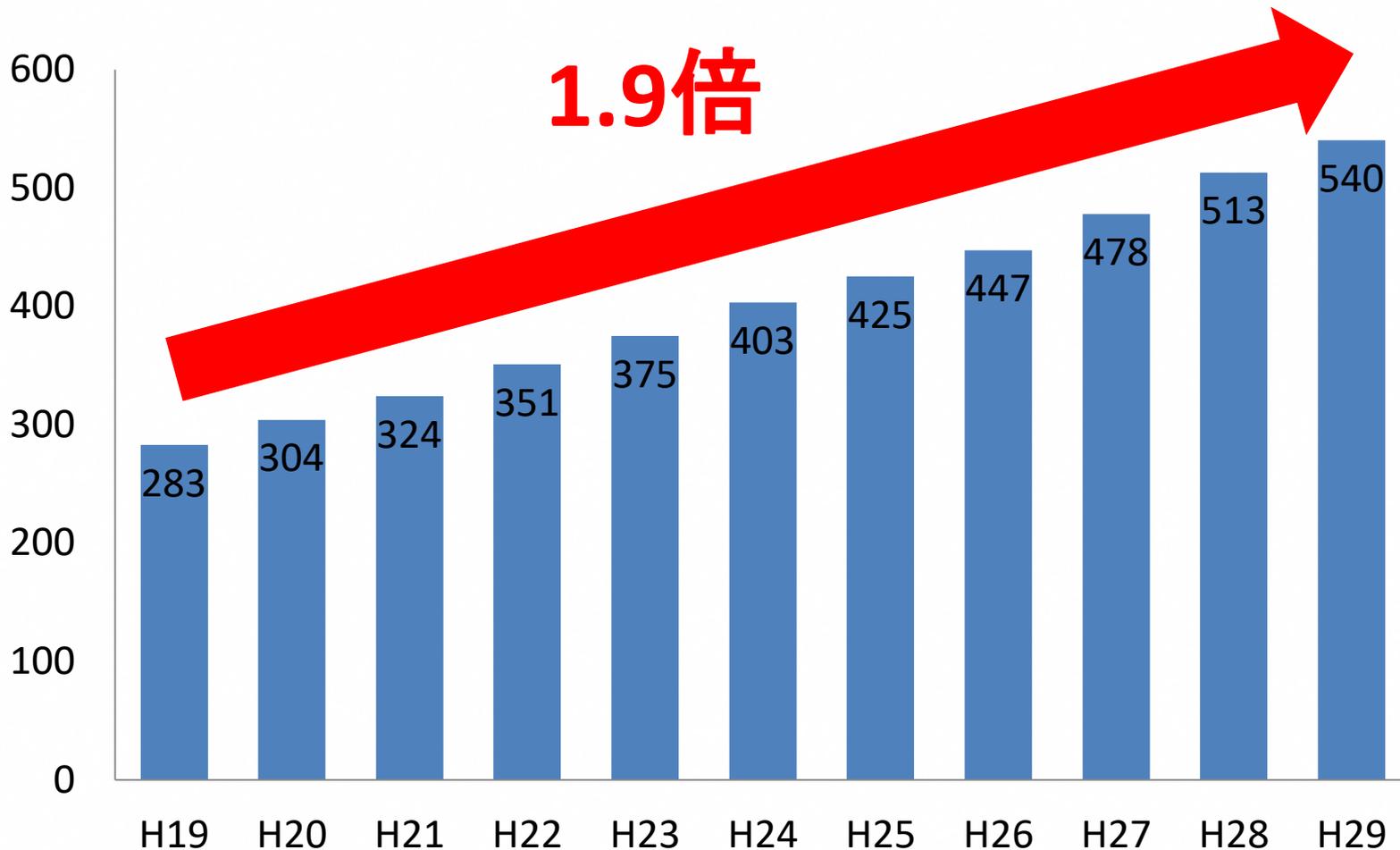
1. 高齢者運転事故を減らすためには…

- 高齢者に運転をさせない。
 - 免許を返納させる。
 - マイカーではない交通手段を与える。
- 高齢者に運転させるが、事故を減らす。
 - 高齢者に事故を起こさせない環境を作る。



2. 免許返納についての諸問題

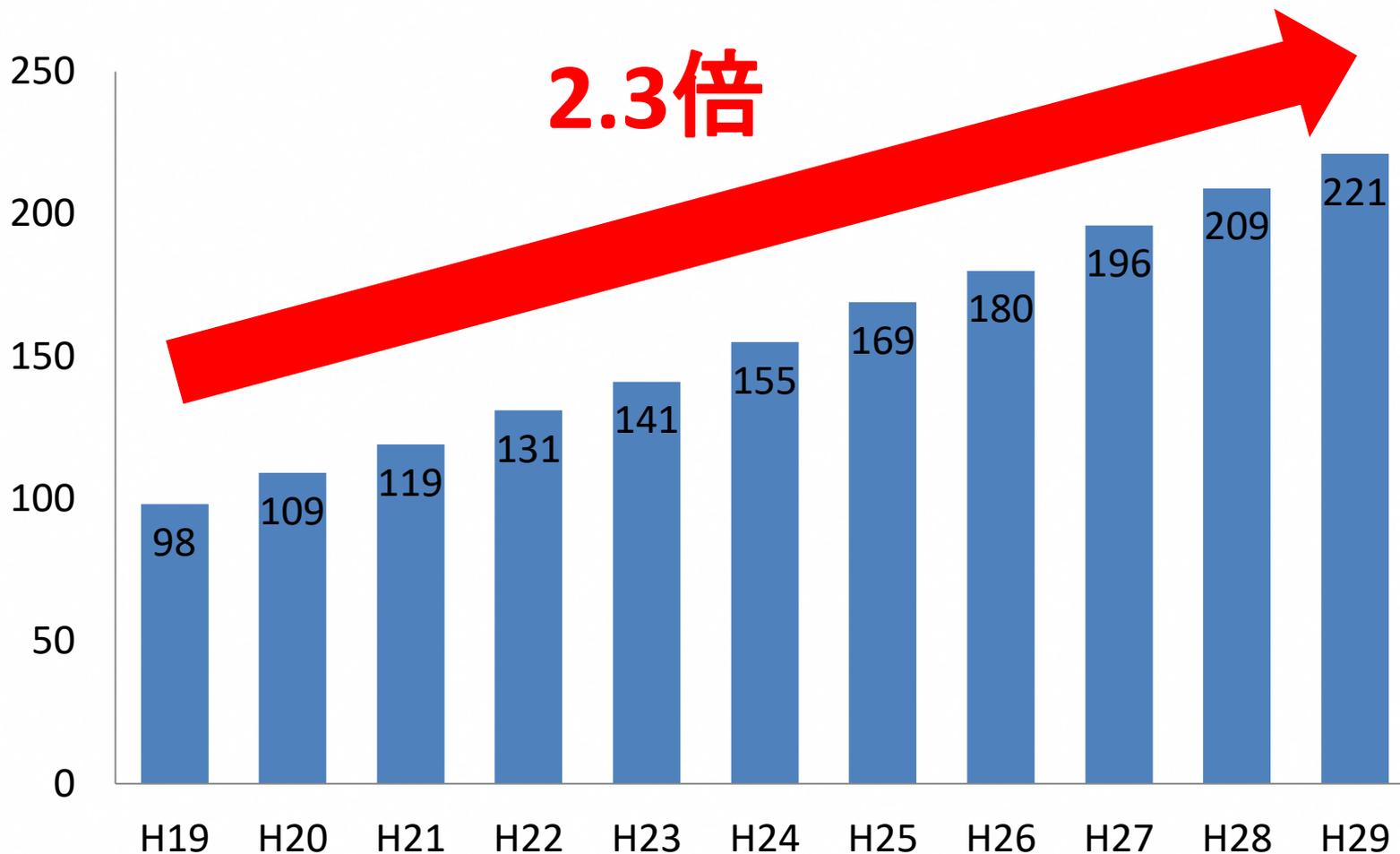
75歳以上の運転免許保有者数の推移(万人)



注 各年12月末の運転免許保有者である。

出典 警察庁交通局「平成29年における交通死亡事故の特徴等について」(2018年2月)

80歳以上の運転免許保有者数の推移(万人)



注 各年12月末の運転免許保有者である。

出典 警察庁交通局「平成29年における交通死亡事故の特徴等について」(2018年2月)

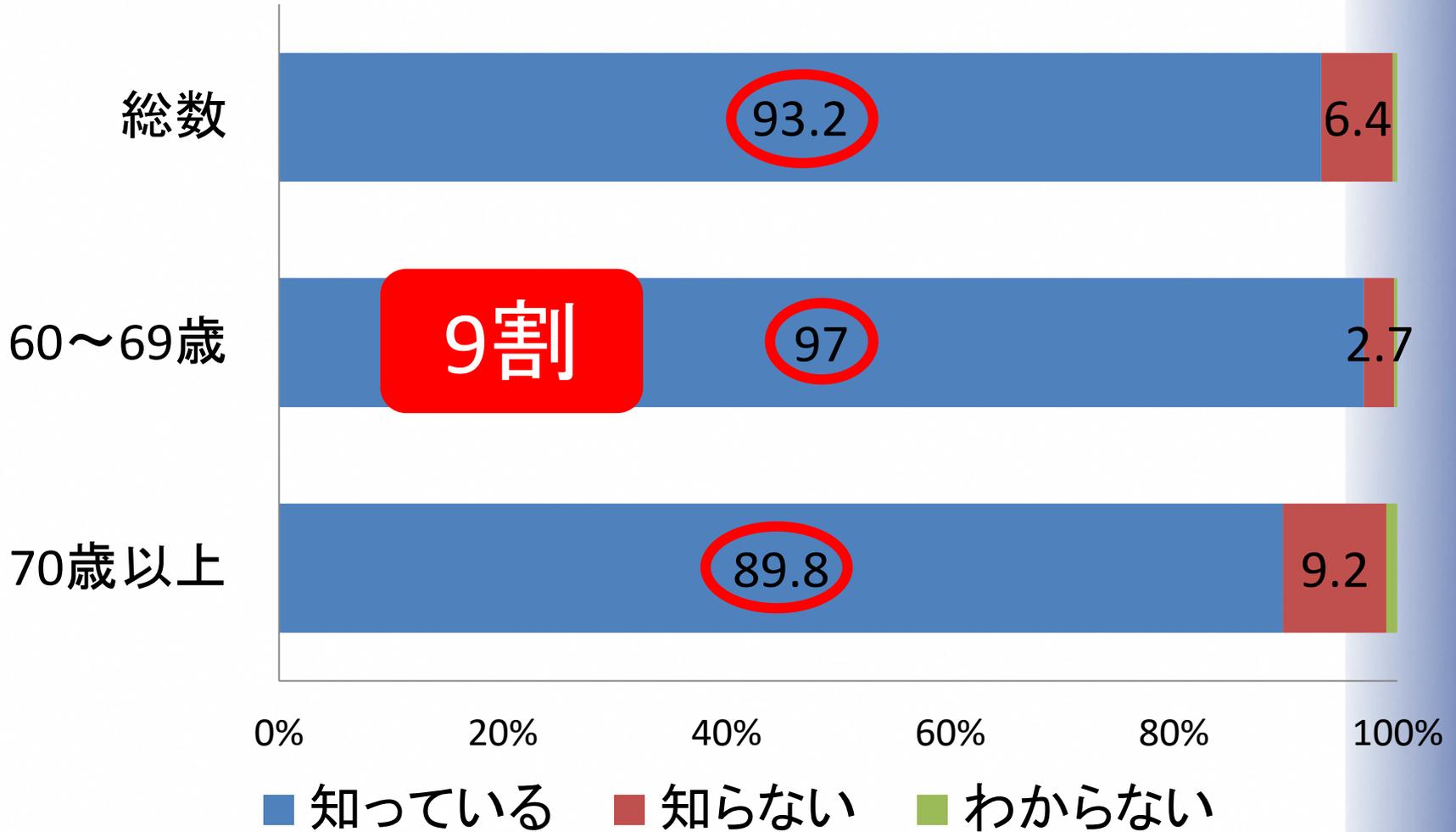


運転免許証の自主返納制度等に関する世論調査

- 調査者：内閣府
- 対象
 - 全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
 - 有効回収数 1,839人(回収率 61.3%)
- 時期：平成29年11月16日～11月26日



あなたは、運転免許証の自主返納 制度について知っていますか。



出典:内閣府



免許保有人口に対する免許返納率

2018年 75歳以上返納率

5.18%

出典：警察庁「運転免許統計」

75歳以上返納率ランキング

(免許保有人口当たり、2018年)



出典: 警察庁「運転免許統計」

免許を返納しない理由

交通インフラ

都市

- 緊急時に必要
- 運転が好き
- 趣味のため
- 証明書

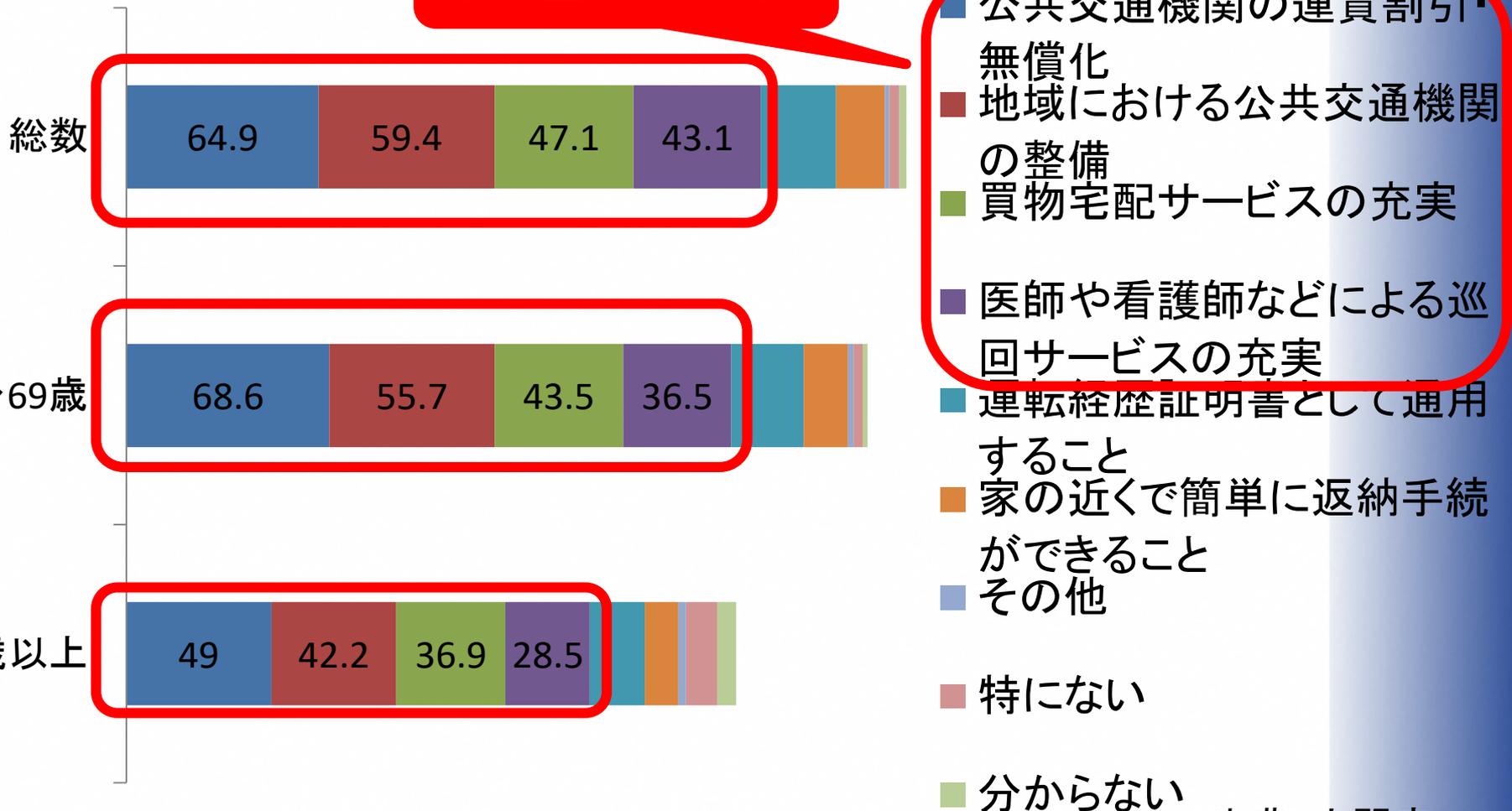
地方

- 生活に不可欠
(買い物・通院など)
- 周困に負担をかけたくない
- 運転に自信がある
- 仕事(農業)のため

安心して運転免許証を返納できるようにするために、どのようなことが重要だと思いますか。

(複数回答)

交通インフラ



出典：内閣府

交通インフラの整備の難しさ

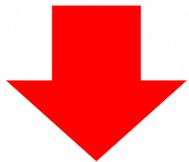
- 鉄道建設
 - 調査・工事計画の長期化
 - 地元住民への説明
 - 莫大な建設費が必要
 - 工事の長期化
- バス・タクシーの増便
 - 深刻な運転手不足
 - 会社の赤字・経営破綻

交通インフラには
莫大なコストがかかる

高齢運転者事故に有効な対策



免許返納の奨励



よりも・・・

交通インフラには
莫大なコストがかかる

高齢運転者に事故を起こさせない



高齢者運転事故を減らすためには...

- 高齢者に運転をさせない。
 - 免許を返納させる。
 - マイカーではない交通手段を与える。
- 高齢者に運転させるが、事故を減らす。
 - 高齢者に事故を起こさせない環境を作る。



3. 安全運転サポート車について

高齢者講習

70歳~75歳未満の方→合理化講習(2h)

75歳以上の方→認知機能検査(0.5h)と講習



認知機能検査

75点以下→合理化講習(2h)

76点以上→高度化講習(3h)

かいとうようし 回答用紙 1	
いか しつちん 以下 ^{ごた} の質問にお答えください。	
しつちん 質問	かいとう 回答
ことし なんねん 今年は何年ですか？	なんねん 年
こんげつ なんがつ 今月は何月ですか？	がつ 月
きょう なんにち 今日は何日ですか？	にち 日
きょう なんようび 今日は何曜日ですか？	ようび 曜日
いま なんじなんぶん 今は何時何分ですか？	じ 分

※ 指示があるまでめくらないでください。

場所：運転免許試験場または指定自動車教習所

70歳以上の方は3年に一度、免許更新の際に講習を受講

認知機能検査の受検者数及び高齢者講習の

受講者数の年別推移

増加

区分 年別	認知機能検査 受検者数	高齢者講習受講者数		
		75歳未満	75歳以上	計
22年	1,185,886	876,976	1,163,452	2,040,428
23年	1,194,263	855,484	1,170,481	2,025,965
24年	1,331,787	722,595	1,291,964	2,014,559
25年	1,451,989	638,024	1,374,110	2,012,134
26年	1,438,040	961,181	1,336,825	2,298,006
27年	1,630,709	1,047,427	1,541,838	2,589,265
28年	1,662,512	954,186	1,579,231	2,533,417
29年	1,864,781	897,741	1,545,070	2,442,811
30年	2,020,144	826,658	1,864,209	2,690,867

特定任意高齢者 講習受講者数		運転免許 取得者教育 受講者数 (高齢者 講習同等)
シニア運 転者講習	簡易講習	
798	1,248	73,208
732	1,226	67,438
702	1,109	91,311
668	878	134,011
844	1,006	173,065
1,055	992	159,805
1,092	590	137,877
814	166	96,617
626	93	110,587

- 1 認知機能検査は、平成21年6月改正後の道路交通法により開始された。
- 2 「運転免許取得者教育受講者数（高齢者講習同等）」とは、運転免許取得者教育の認定に関する規則で定める課程のうち高齢者講習と同等の効果がある課程を受講した者をいう。

運転免許統計平成30年版警察庁交通局運転免許課



75歳以上高齢運転者による死亡事故の人的要因比較

ハンドルの操作不適

17%

ブレーキとアクセル

の踏み間違い

5.4%

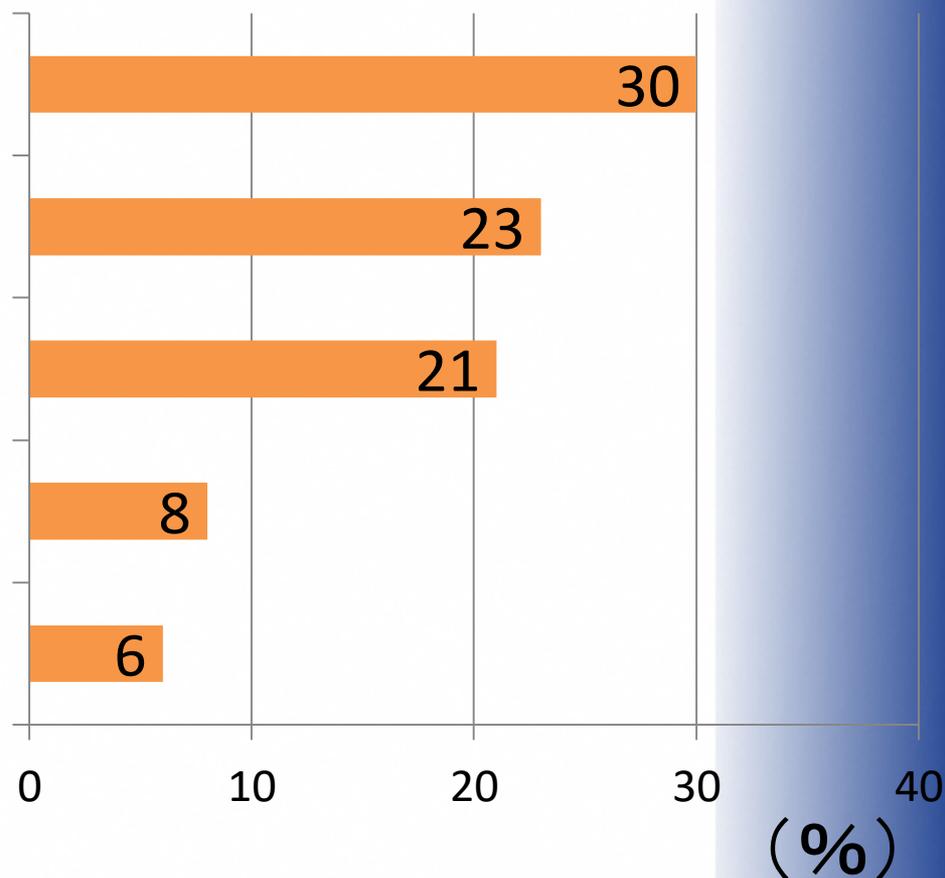
操作不適

安全不確認

内在的前方不注意(漫然運転等)

外在的前方不注意(脇見等)

判断の誤り

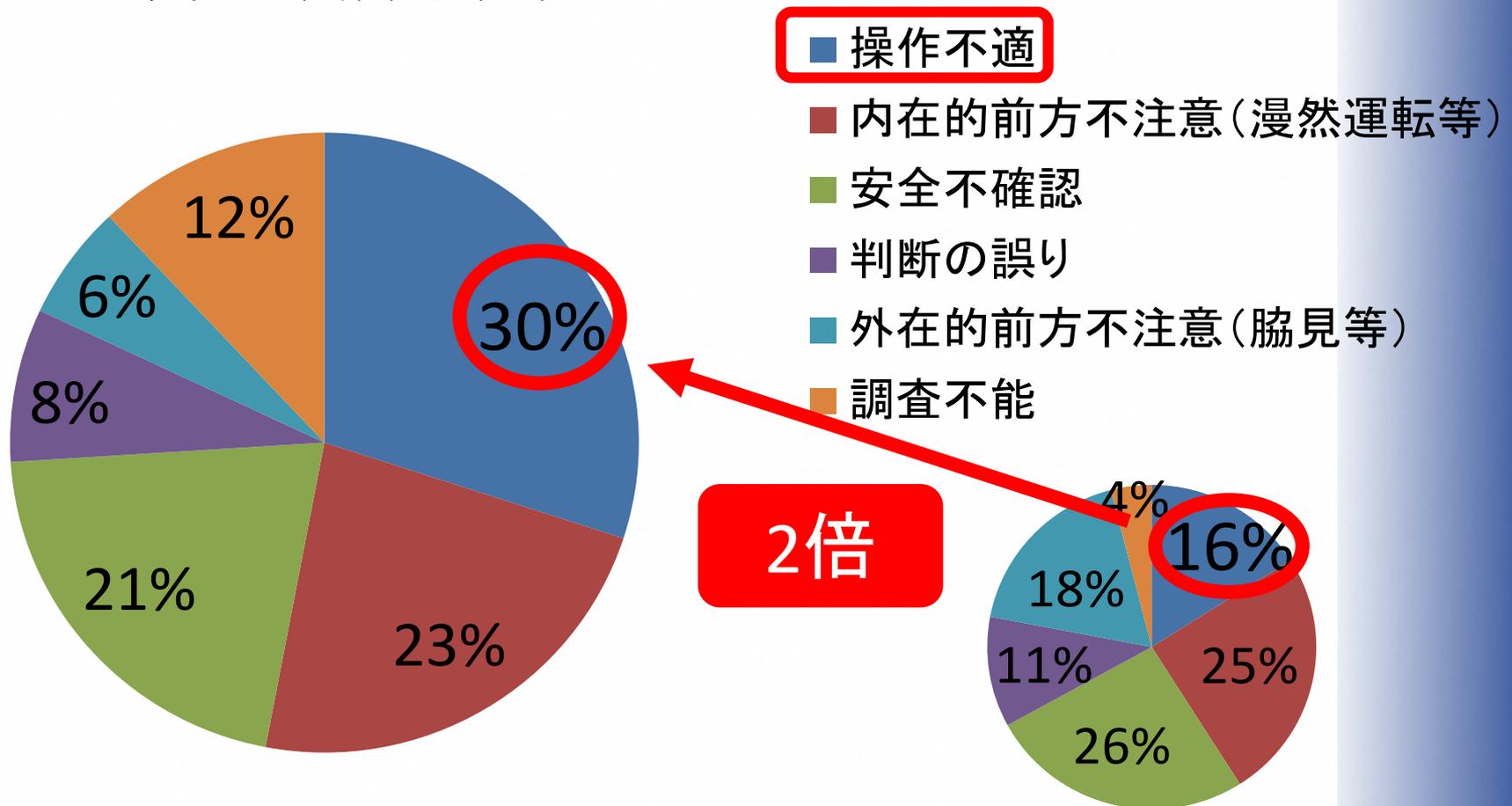


出典 警察庁「第7回高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議配布資料」

死亡事故の人的要因(2018年)

75歳以上高齢運転者

75歳未満の運転者



出典 警察庁「第7回高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議配布資料」



高齢運転者の死亡事故を減らすためには・・・

安全運転サポート車（サポカー）の普及

経済産業省・国土交通省が推進



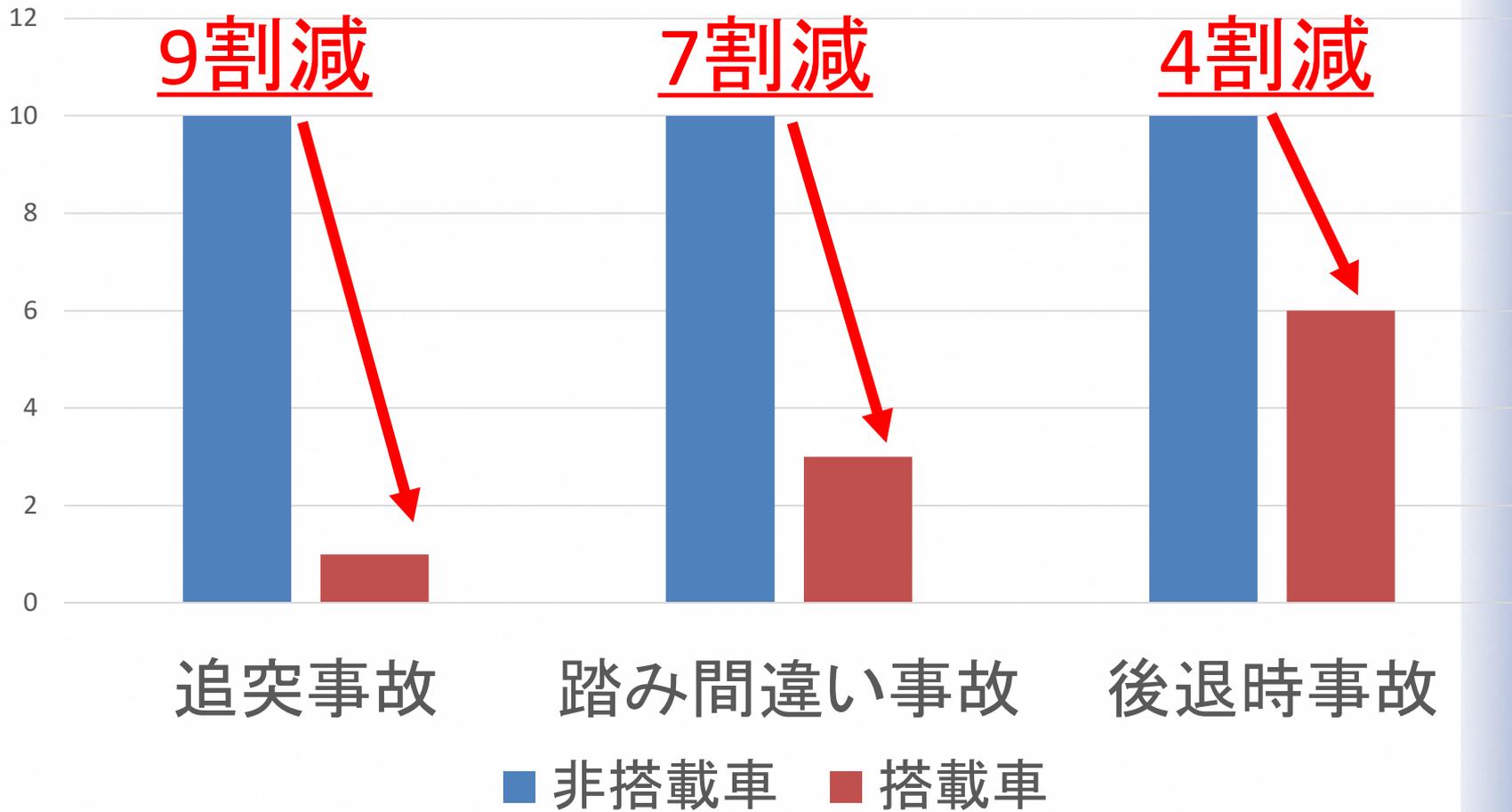
安全運転サポート車の機能

衝突被害軽減ブレーキ

ペダル踏み間違い時加速抑制装置



機能搭載車は非搭載車に比べて...

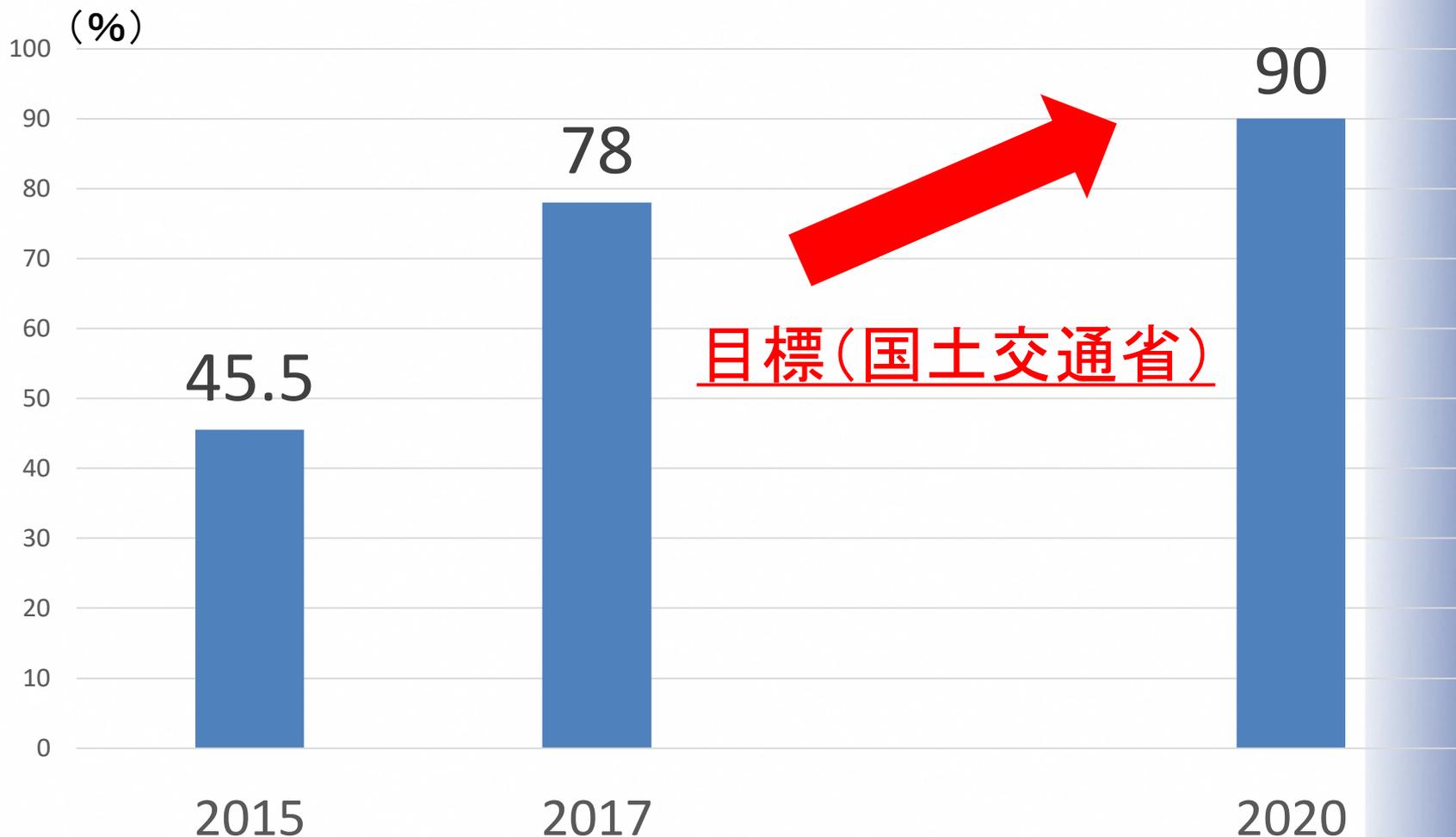


※非搭載車の事故件数を10とする。

出典 トヨタ自動車株式会社



国内乗用車メーカーにおける 衝突被害軽減ブレーキの新車搭載率



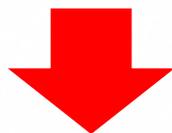
出典 経済産業省、国土交通省

4. 私たちの提案

「高齢者対象のカーシェアリング」
～官民一体となって推進しよう～



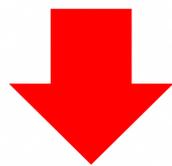
安全運転サポート車を高齢運転者に使わせたい。



安全運転サポート車の高い普及までにはまだほど遠い。
(新車には手が届かない)



高齢者が手軽に安全運転サポート車を利用できる
仕組みづくりが必要。

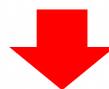


高齢者対象のカーシェアリング



カーシェア各社、サポカー導入積極化

- カレコ・カーシェアリングクラブ
 - 2018年3月から **新たに導入する車両すべて**に自動ブレーキ機能の設置
- タイムズ24株式会社
 - **導入車両の45%**がサポカー（2018年6月）



- **安心感を訴求する利用者層の拡大。**
- **一つひとつの事故が軽微になり、保険料・修理費用が下がる。**



カーシェアリングの仕組み

1. 入会

入会して会員カードを受け取る。

2. 予約

インターネット若しくは携帯電話で予約。
24時間予約・利用可能。利用時間を設定。

3. 解錠

車に会員カード(ICカード)をかざして解錠。
車内に保管してあるキーを取り出す。

4. 運転

15分からの利用が可能。

5. 給油・洗車

給油・洗車をすると、料金が割引。

6. 返却

車両は貸し出された場所と同じところに返却。
会員カードでドアを施錠。

7. 精算

クレジットカードでお支払い。

マイカーを所有する場合の経費

自動車そのものの購入費用



自動車諸税・車検費用



駐車場代・メンテナンス代



法定及び任意の自動車保険



年間数十万円程度の経費が必要



カーシェアリングの料金体系

入会時の初期費用



定額の基本料金



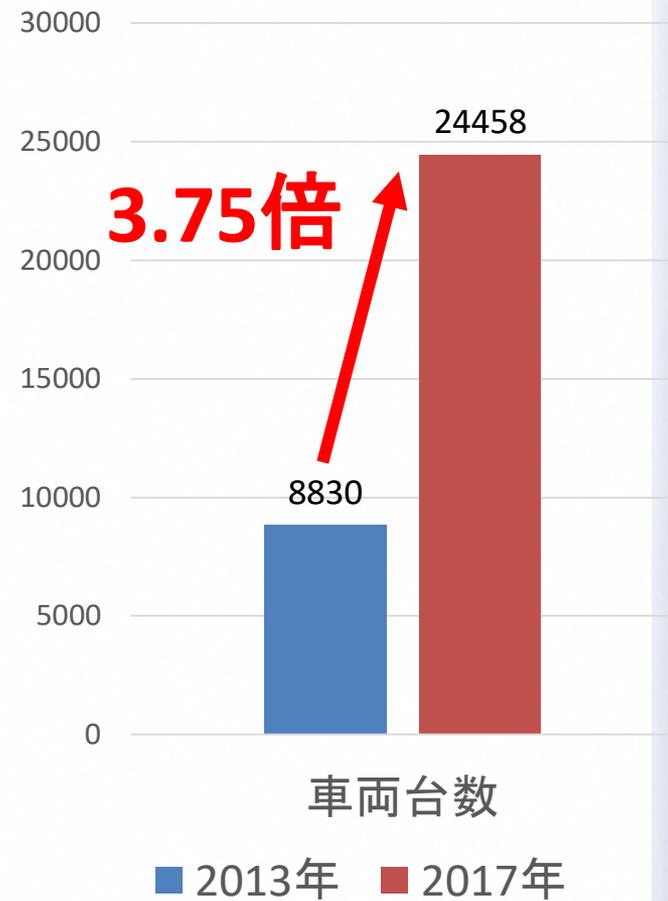
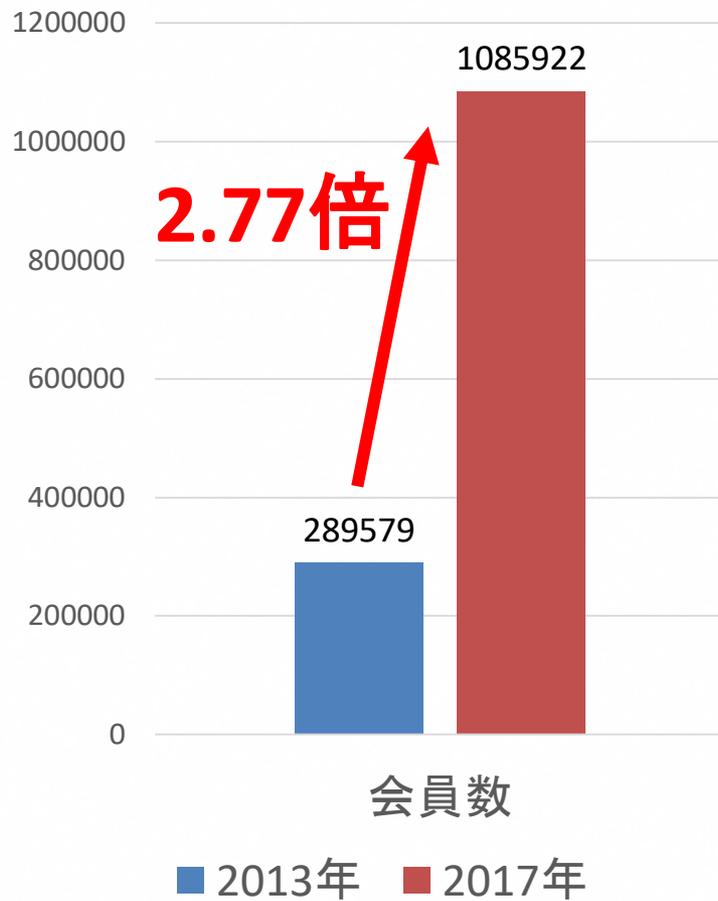
従量制料金(時間、距離)



年間10万円程度(月に2回、62km利用)

自動車保険・自動車諸税・車検費用等の固定費用、
ガソリン・洗車代は事業者負担

国内のカーシェアリングの現状



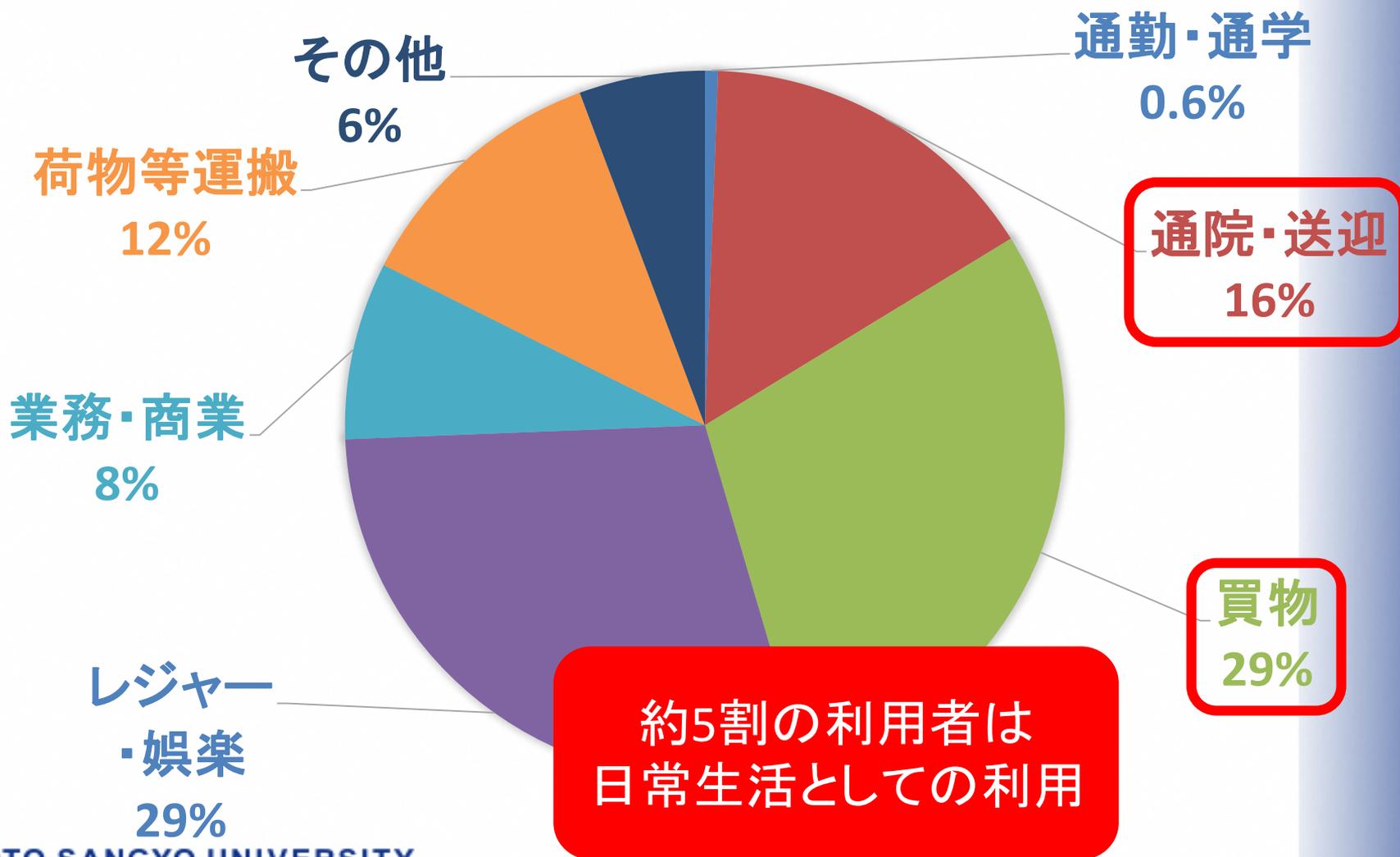
仲尾謙二「自動車カーシェアリングと自動運転という未来」生活書院(2018年)



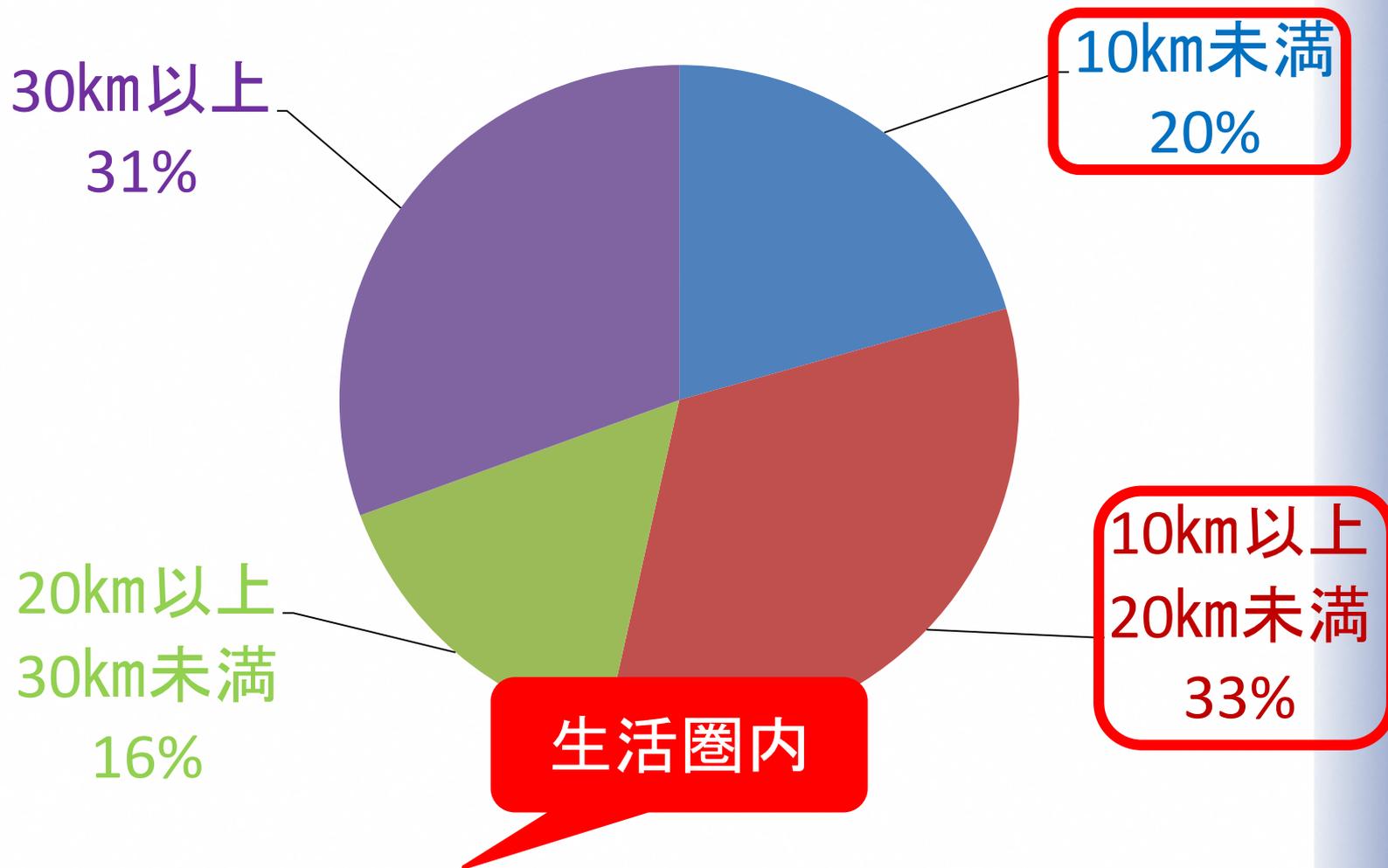
京都市におけるデータ検証

- 2010年2月に京都市周辺のカーシェアリング会員に対して実施したアンケート結果
 - 配布数 400部
 - 有効回答数 116(個人契約会員)
- 2010年実施の京阪神都市圏における第五回パーソントリップ調査
 - 京都市域の交通手段別の分担率(平日)

カーシェアリングの利用目的



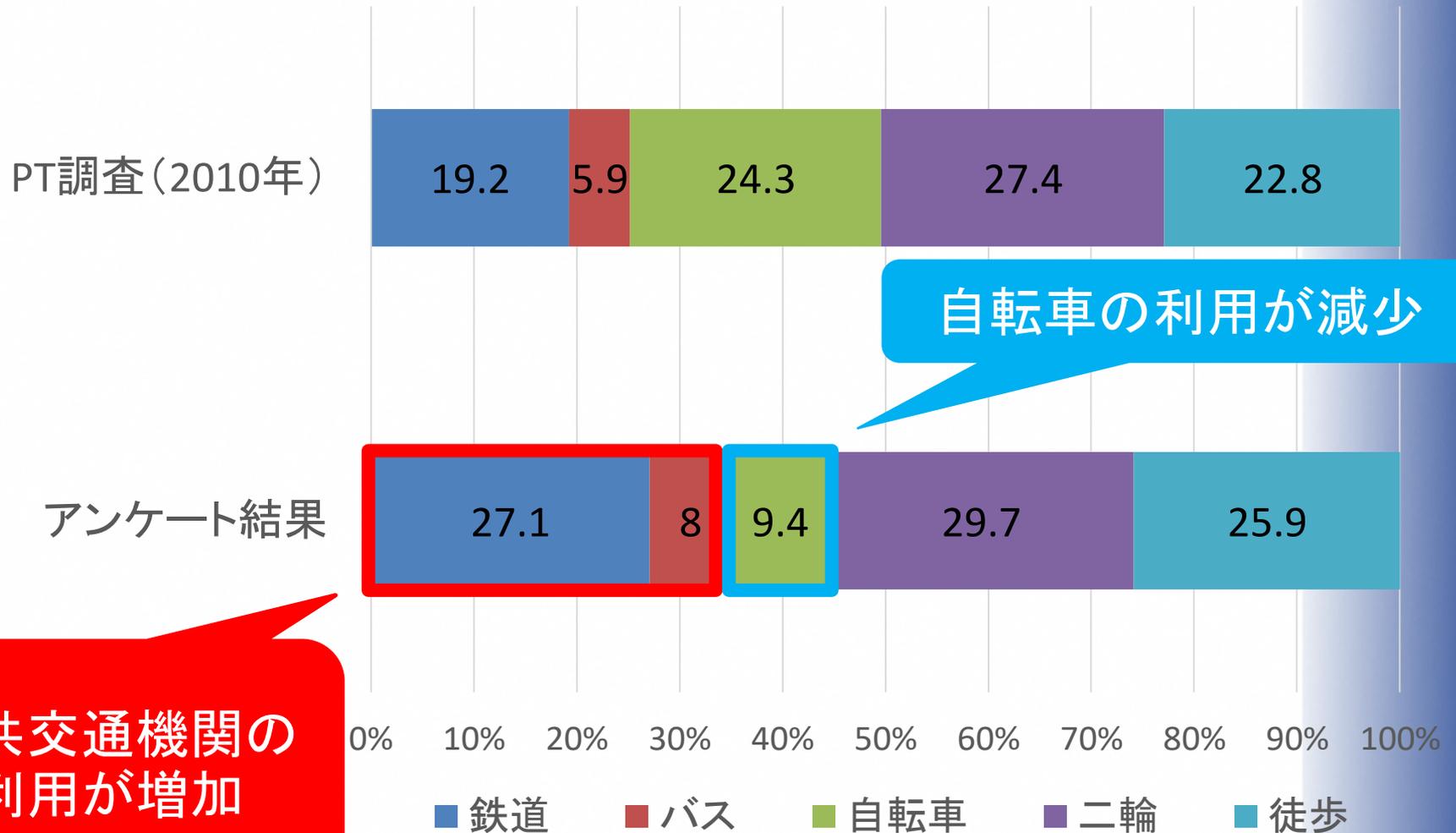
カーシェアリングの利用距離



20km未満の利用が全体の53%



カーシェアリング利用者のアンケート結果と 交通手段分担率のパーソントリップ調査との比較



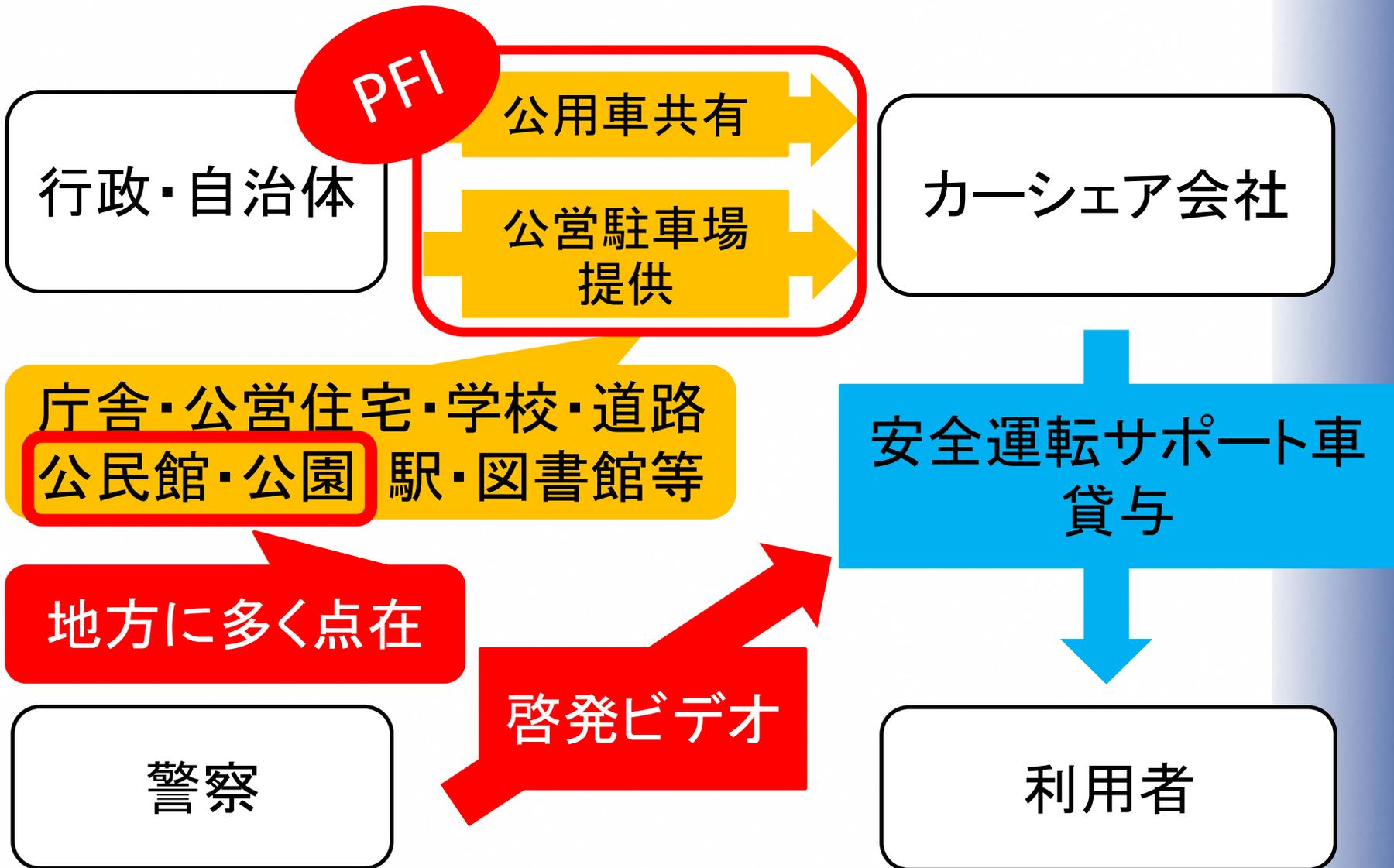
カーシェアリングの普及状況

- 京都市内 689台
- 宇治市 22台
- 向日市 22台
- 長岡京市 21台
- 京田辺市 15台
- 城陽市 8台
- 舞鶴市 8台
- 木津川市 6台
- 福知山市 6台
- 乙訓郡大山崎町 4台
- 相楽郡精華町 4台

地方部では
まだ十分に
普及されていない

※タイムズ24株式会社
「タイムズカーシェア」の車両台数
※2019年11月8日現在

高齢者対象のカーシェアリング





参考資料

- 警察庁交通局「平成29年における交通死亡事故の特徴等について」(2018年2月)
- 内閣府「運転免許証の自主返納制度等に関する世論調査」
- 警視庁「運転免許統計」(2008年～2018年)
- FNN PRIME「返納したくても生活できない...地方の高齢ドライバーの複雑胸中」(2019年6月14日)

https://www.fnn.jp/posts/00046794HDK/201906142341_MEZAMASHITelevision_HDK

参考資料

- 警察庁交通局「平成30年における交通死亡事故の特徴等について」(2019年2月)
- 警察庁「第7回高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議配布資料」
- 経済産業省「サポカー/サポカーSのWEBサイト」
<https://www.safety-support-car.go.jp>
- トヨタ自動車株式会社「トヨタの安全技術とは」
<https://toyota.jp/safety/about/>

参考資料

- 一般社団法人日本自動車会議所「自動車産業インフォメーション【カーシェアやレンタカー会社、サポカー導入を積極化】」

<https://www.aba-j.or.jp/info/industry/3781/>

- 仲尾謙二「自動車カーシェアリングと自動運転という未来」生活書院(2018年)

- タイムズ24株式会社「タイムズカーシェアWEBサイト」

<https://share.timescar.jp/>